

夕刊 東北日日新聞

本報創刊三十周年 昭和四年四月八日 印刷部 印刷 電話 七五七番

至當なるが故に白井側は

権利をヨウ護したのである

然るに無謀な高橋氏の争ひを

政争……と報導した新聞紙あり

小名濱大敷網問題はその後ますます紛糾を重ねつゝあるが、新聞紙はいろ／＼の意味に於て報導を異にしてゐるも、アル新聞紙の如きはこれ利権を差しはさんで兩資本家の云々とか、甚しきに到りては小名濱大敷網の政争化云々とあるに到つては新聞記者としての教養も経験もいたがいたくなるのである。

要するに高橋が若し損害があるとしたら當初契約をして直後縣の意圖にて解約をした江名、小名二組合を相手にすべきである。更に進んで不服があれば縣當局を相手に戦ふべきである。その結果として高橋側が正當の権利者であることが法律の確認するところ

となつたとき、更に縣が正規の手續を了し、亦白井博之氏の登録せる漁業権を抹消したるときに於てこそ高橋側の完全たる確得であり、権利を伸張すべきであることは、吾人の常識に於て斷定するところである。

白井側は登録せる権利者としての自己を喪失しては居らない許りか、經營し始めてすでに三ヶ年度に及んでゐるのである。然るに横暴にも自己の權利に屬する漁場として白井側を犯さんとして、三百の言辭を弄し地方産業の出鼻をくじき、經濟的には小名濱町に致命的なものをも與へ、更に自己をエン護する爲めに民政クラブに泣き込み遂に非なるものとみての政争化せしめつゝ自己を有利に展開せんとしたることは憎

吾人は法律家にあらざれど自己の所有權を犯さんとしたる場合は、法治國民としては司法權の發動に期待をかける外に途があらうか白井側の態度は實に之れである然るに何ぞ……。高橋側は、江名、小名二組合と契約し、それか移命通牒による條件が高橋氏と契約しても無効なることを知るや、兩組合が解約をしたのである。然るに高橋氏が違法であり、不都合とあつて民事上の訴訟を提起して係争中である。然して白井側の登録中の漁場を自己の權利に屬するとして主張は果して正氣の沙汰であらうか。吾人は日本に居住し、憲

法治下に生ソクして法治國民たりこれ人類社會の尤も尊重すべき嚴然たる權威である。背逆したる者は法の前に正裁さるゝことによりて始めて終了を告ぐ、白井側が果してこの事ありしや果して登録せる漁業権を喪失したりとの正裁をうけしことありや……。

亦言はん……高橋氏が正當なり白井の權利に非ず高橋汝の權利に屬するものであるとの正裁をうけしことありしや、吾人はこの事を聞かざる者である。

犯さんとする者高橋氏であることは直前に横暴なる事實である。新聞記者の言ふが如く、これが政争か……。……平署に泣きつくこと十數回時に辯護士を連れ民政系の縣會議員二名をお伴にし、陳情書に類する書類數回、裁判所に頭泣きつき、検事局への哀訴、あるときは何んたる醜狀ぞ。

法に訴へ、法を信頼し、法によつて決すべきである。然るに白井側は泰然として法を信頼し、法によつて決せんとしてゐるではないか然るに、海上にある權利の漁場を保護する爲にのみ高橋側の妨害を阻止するのみである白井がわは魚を漁する仕

事で争闘をするに數萬圓の巨費を投じて施設をしたのでない限りは、斷じて自己を保護する以上は、只だ適當の所置のみである。吾人は賢明な司法の官發動によつて吾人は救へられんとする者である。

盛會裡に散會

明日は女子聯合總會

既報の如く第八回本縣聯合日の結核予防會に就て青年團總會は二十七日午前中平署でも自動車ラングに大十時より平町警城中學校講堂に於て本縣知事代理大久保學務部長中曾根社會課長新見視學部長等臨席縣下各町村青年代表七百餘名出席動車十數臺が數萬のピラをのり開會された大森聯會副團長(平)開會の辭を述べた次いで總員起立の上君が代を合唱終つて知事代理大久保學務部長令旨を捧讀續いて主事課長の挨拶あつて議事に入り本團に對する縣補助増額の件其の他數件を協議決定し正午一先ず休憩午後より役員選舉に移つた決定した役員左の如し

團長 大久保學務部長
副團長 新見視學部長
同 丸野白河町長
評議員 佐藤福島市長
尚次回は白河町に開催と決定した

結核豫防の
○：大々的宣傳
全國一齊に行はれた二十七

消防協會より
諸橋氏表彰さる
平町五丁目諸橋久太郎氏は今回大日本消防協會より功勞者として金盃一組に表彰狀を添へ表彰された

カフイー松ヶ岡
公園正門下

假處分の執行で
白井側遂に勝利
本日午後四時平區裁判所では先きに白井がはより提出してあつた高橋がはに對する假處分の執行を行つた

有權者名簿提供

月餘の後に迫つた平町會議員の改選も五月中旬頃は有權者を中心にして華々しい戦ひが演ぜられるものと思はれます。今回は普選第一回の町議戰だけに有權者も四千に手のこゝく程の激増を示し又立候補者數も或ひは四十名とか乃至は五十名とかこ種々傳へられる程であります従つて一町内から二名乃至は三名立候補を聲明する人々が現れるのも決して無理からぬ事でありませう。本社はこゝに立候補されんごする人々のために平町の有權者名簿を作製し實費で提供する事に致しました。希望のお方は何卒本社迄お葉書なりお電話なりでお申込下さい名簿は約七十頁位のものでポケットに一寸入られる程度に製本し一町内毎に區分されてありますから一目瞭然誰れにでも直ぐ判る様にしてあります。尚製本は五月三日頃迄に出來上る豫定であります

東北日日新聞社
營業部
電話七五七番

体温計 寒暖計 電話四〇番

